

北海道洞爺湖町姉妹都市提携 60 周年記念事業 「第 50 回記念 ANA 洞爺湖マラソン 2024」 参加者募集



洞爺湖マラソンは、洞爺湖畔を一周する春一番のフルマラソンです。陸連公認コースのフルの他、10キロ、5キロのコースがあり、全国各地や海外から多くのランナーが新緑の湖畔を駆け抜けます。エイドステーションでは地元スイーツなどが提供されます。主会場ではグルメ屋台や餅まき抽選会など応援にくる方も楽しめるイベントです。

【日程】 2泊3日 ※行程詳細は裏面参照

令和6年5月18日（土）～20日（月）

18日（土） 役場集合、洞爺湖町へ移動

※役場駐車場はご利用できません。

19日（日） 洞爺湖マラソン参加、終了後は自由行動

※マラソンは5kmコースの参加となります。

詳細は、大会ホームページで確認してください。

洞爺湖マラソン

検索



20日（月） 洞爺湖町内観光、洞爺湖町から移動、役場解散

【申込期限】 **令和6年3月22日（金）17時（必着）**

【申込方法】 観光課または町ホームページにある参加申込書に必要事項を記載のうえ、観光課へ持参、郵送またはEメールにてご提出ください。



日程 令和6年3月1日現在の予定です。都合により変更又は中止になる場合があります。

5月18日(土) 【食事】朝×、昼○、夕○	5月19日(日) 【食事】朝○、昼×、夕○	5月20日(月) 【食事】朝○、昼○、夕×
6:30 役場集合 7:00 役場発 [貸切バス] 10:00 羽田空港発 [飛行機] 11:35 新千歳空港着 [貸切バス] 12:30 昼食 [貸切バス] 16:00 宿泊先着 宿泊先もしくは前夜祭で夕食	午前中 洞爺湖マラソン参加 各自「わかさいも本舗前」集合 【5km コース】10:00 スタート 終了後 自由行動 宿泊先にて夕食	8:30 宿泊先発 [貸切バス] 8:40 有珠山洞爺湖展望台等見学 (有珠山ロープウェイ) [貸切バス] 10:00 洞爺湖ビジターセンター・ 火山科学館見学 [貸切バス] 12:30 新千歳空港着 (空港内で昼食) 14:30 新千歳空港発 [飛行機] 16:10 羽田空港着 [貸切バス] 19:00 役場着、解散

対象	以下の両方の条件に当てはまる方 ① 町内に在住・在勤の方(ともに中学生以上) ② 心身ともに健康で、5km コースを走りきれる体力のある方
定員	10名(超過した場合は、町内在住者優先で抽選)
費用	一人30,000円 ※参加者負担以外の費用は、洞爺湖町と町が負担します。 ※参加者確定後、期日までに指定する金融機関でお支払いください。 <<注意>> 参加確定後、自己都合によりキャンセルする場合は、費用の全額を負担していただきます。
参加決定 (抽選結果)	参加申込が定員を超えた場合は、抽選を行い、参加決定(抽選結果)につきましては、郵送にてお知らせいたします。
問い合わせ 申込先	箱根町企画観光部観光課 平日8時30分~17時15分 〒250-0398 箱根町湯本256 電話 0460-85-7410 E-mail web_kankou@town.hakone.kanagawa.jp

行政書士による

無料相談会



高齢や病気が原因で、身の周りのことや財産のことなどの判断が適切に行えなくなることがあります。

自分自身の、そして大切なご家族の将来に備えるため、
気になる“こと”を相談してみませんか！

～成年後見・遺言・相続等～

<開催日時および場所>

○ 令和6年 3月26日(火)

箱根町役場分庁舎第6・7会議室

時間 14:00～16:00 (最終受付は 15:30)

※ ご相談は事前予約をお願いしております。

お問い合わせ・事前予約は…

箱根町地域包括支援センター 85-3002まで



箱根町地域包括支援センター

一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター—神奈川県支部小田原西地区

行政書士による無料相談会では…

～成年後見制度～

自分自身で判断することが難しい方について、家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等が、財産の管理や福祉サービス等の契約を行い、ご本人の権利を守り生活を支援してくれる制度です。無料相談会では成年後見利用までの流れや家庭裁判所の申し立てに必要な書類や手続きについての相談ができます。

～遺言・相続～

自分の遺産をどのように使い、子孫たちにどうやって分配するかなど、将来争いが無いように不備なく遺言を作るための相談ができます。

～その他～

行政書士は『街の法律家』として官公署（役所・役場）・契約書等の書類作成や一般法律相談など、身近な書類手続きについてもいろいろな視点からアドバイスを行ってくれます。

まずは下記までお問い合わせ・ご予約下さい

箱根町地域包括支援センター 85-3002

誰でも気軽にどうぞ(*^^*)!

きんとき寄せ木 サロン

3月



サロンは地域の人たちの参加で作り上げる、みんなが気軽に集まれる場所です。

あなたも参加して一緒にサロンを楽しい会にしませんか？
参加者募集中です！誰でもお気軽にお越しください♪

日 時：令和6年3月26日（火）14時～16時

場 所：仙石原いこいの家

内 容：タオル体操、お楽しみ会

参加費：お茶菓子代として一人100円

※ タオル・飲み物持参（コロナ対策のため）

【お問い合わせ】

伊東元子（86-3766）または

高橋重子（84-6066）

みんなで楽しむ!

芦／湖サロン

芦／湖サロンは地域の人たちの参加で作り上げる、みんなが気軽に集まれる場所です。あなたも参加して一緒に芦／湖サロンを楽しい会にしませんか？
気軽に集まれる場所が近所にあるっていいですね。



日時：令和6年3月27日（水） 11：00～

場所：元箱根集会所集合

内容：みんなでちらし寿司他

お楽しみを食べましょう！！

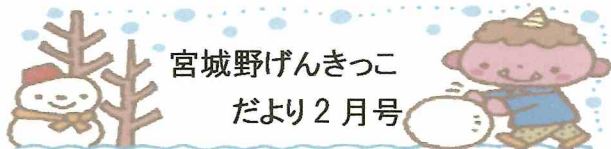
参加費：お茶代として一人100円

（内容により変更するときがあります）



お問い合わせ：箱根町社会福祉協議会 担当：山口

電話番号 → 85-9000



保護者の手作りお弁当です。どの子も自慢げに友達に見せながら食べています。遠足の中でもとても楽しみな時間となっています。いつもありがとうございます。

子ども達待望の雪が宮城野にも降ってくれました！大人は車が安全に通れるか雪かきが大変だななどと思う所がありますが、子ども達は雪が降ってくる空に向かって「ありがとう！」と雪の神様に御礼を言っていました。何事も楽しんで生活することを子ども達からまた教わりました。子どもの純粋な気持ちを日々感じます。子どもはあるがままを受け入れてもらい、園で自分を出し切り大切にされているか、友達とともに生活を楽しみ、互いに高め合っているのか等年齢や一人ひとりに合わせ年度末一年間のまとめとして、子ども達の育ちを振り返ります。子ども達はあっという間に大きくなっていきますね。今年度もあと少しです。お子さんをまんなかに、ご家庭と共に一緒に協力し合い、育んでいきたいです。どうぞよろしくお願いたします。

節分のお話

2月3日はご家庭でどのような節分を行いましたか？園ではさくら組が考えた節分を行いました。鬼が住む山から鬼が出てきたり自分達が考えたオリジナルストーリーを紙芝居で披露してくれたり園児が作る節分集会は、しっかりと節分を理解できた素敵な会でした。今年の節分は泣く子どもでずりに張り切って豆をまいていました。さくら組らしい、ほんわかした節分集會に成長を感じ、自分達が園のリーダー！という姿を見ることができました。



箱根教育合言葉

～箱根を愛し・かしこく・やさしく・たくましく～ 宮城野保育園

☆お別れ散歩～彫刻の森美術館～3.4.5歳児2月20日

今週は雨マークが目立っていましたが、この日は夏のような快晴に恵まれて箱根のアートを十分に楽しむことができました。年長児との最後の散歩のコースに選んだのは、彫刻の森美術館です。入り口でガイドマップをもらい広げて見ながら、異年齢グループのリーダーが率先して行先を決めたり、面白かったところをもう一度行ってみたいと自分達で「考え遊ぶ」遠足となりました。もちろん、スムーズに行くわけではなく、色々な葛藤や思いがあったようです。そんな中でも自分達の今までの関係性において解決していく姿がとても頼もしく感じました。そんな子どもの姿や声をお届けします。

◎幸せをよぶシンフォニー彫刻での出来事

4歳児が怖いから登れないと言って「なんで（頂上までいく）エレベーターがないのかな、あればいいのに」と何回も保育者に伝えてくる。いざ登る時がくるとさっきまで怖がっていたのに、友達が楽しそうに登っていく、当たり前のように挑戦していく姿をみて、「行ってみる！」と走っていきました。挑戦後の表情はとても満足そうで、友達の力を感じた場面でした。

◎星の庭での出来事

- ・上から全体を見てゴールを誘導する子
- ・迷っている友達を見つけて、上で眺めていたのにすぐに入ってゴールの道を教えにいった子
- ・何回も友達と挑戦して迷路の道を把握する子
- ・とにかく迷路が楽しくて曲がり角で友達に出会うことが嬉しい子
- ・年長児は誰が早くにゴールに着くことができただかを言い合いになったが、互いに自分だと言い合ってもしょうがないと気づき、もう一度戦いを挑んでいた子

子どもはもっと楽しみたいという思いがあると、自発的に目の前にある環境に自ら挑戦したりもっと面白くするべく考えを巡らせたりします。幼児にとって気持ちが大事ということが分かります。これからも心揺さぶる体験を大事にしていきたいです。



箱根合言葉 箱根を愛し かしこく やさしく たくましく



箱根町立仙石原幼児学園

R6.2.22

おわかれ遠足

14日におわかれ遠足でサファリパークに行ってきました。当日までに、動物ごっこをしたり、地図をみてどんな動物がいるか話したり楽しみにする姿がありました。幼児クラスで行く最後の遠足なので、異年齢クラスを意識し、年長児の方から年下児にアプローチしてペアを作っていました。当日は、年長児がしっかりリードして手をつなぎ、バスの中でも一緒に動物の話をして楽しんでいました。

箱根園、おわかれ遠足と園外に出ていく中で、挨拶を進んでしたり、友達と手をつないで歩いたり、道路や狭い道での歩き方など成長を感じる場面がたくさんありました。

その反面、荷物をかばんから出す、しまう、自分の荷物をもって歩くという経験の差が大きいように感じました。大人がしてしまうことは簡単ですが自分で出来た経験の積み重ねが大切です。ご家庭で、散歩やお出かけにいく時も小さい時から自分のカバンをもって出かける習慣があるといいですね。

お知らせ

- ・新入園児健康診断は3月11日13時～行ないます
教材引き渡しは、15日になります。在園児も15日より随時引き渡しします。
- ・令和5年度卒園式について
日時 令和6年3月22日(金)10時～
場所 仙石原幼児学園 ホール
その他 参加者の人数制限は今の所ありません。

花壇のブロックの老朽化が進み、園庭の花壇の工事を26日～5日まで行うことになりました。20日に年長児と最後の大根と人参堀りを行い、家庭に持ち帰りました。お味はいかがでしたか。工事終了後は、年中組とジャガイモの種芋を植える予定です。畑の当番も引継ぎの時期が来たようです。

2月に入って早々節分が終わり、今はひなまつりに向けての準備が始まっています。幼児クラスでは、年齢や興味に合わせた素材を使ってひな人形を製作しています。

時の流れは速いものですね。子ども達との時間を大切に、一日一日を過ごしていきたいと思えます。

寒暖の差が激しい日々が続いています。インフルエンザが日に一人、二人ですが、増えることなく減ることなく続いています。引き続き感染対策(手洗い、うがい・換気)や早寝、早起き、朝ごはんなど規則正しい生活習慣を心がけ免疫力アップをお願いします。

雪の中で園小交流

前日降り積もった雪で6日の日の仙石原は、一面の銀世界でした。大人は、除雪や交通機関の運休等で朝から大忙しの日でしたが、子どもたちは、登園すると朝から雪の中に飛び出して行きました。お正月遊びの時に民生委員の市川さんから頂いたお手製のそりやスキー板を持ち、学校の築山を目指す姿や雪だるまを作ったり、雪合戦を友達や先生と遊んだり、大興奮でした。

生活科の授業で校庭にきた1年生とそりや雪合戦を楽しみ、一緒に雪の中に転がる姿もありました。中休みになると他の学年の先生や子どもたちも出てきて、いつの間にか一緒に雪合戦を楽しむ姿がありました。子どもも先生も雪の中、真っ赤な顔をして真剣に楽しんでいました。

1年間、園と小の交流を大切に行い、研究を進めてきました。交流は計画ありきで進めるのではなく、園児児童ともに「やりたい」気持ちを大切にしたい主体的な学びが大切であると考えてきたことが雪遊びを通して研究してきたことと結びついてきたように感じました。

今後も、運動場を共有できる立地の良さを最大限に有効活用し、園児が安心して就学し、小学生にとっても年下児と関わることのメリットを増やしていきたいと思えます。





す ま い る

園小中箱根教育合言葉「箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく」



2月3日に行われた箱根神社の節分祭は土曜日ということで、たくさんの参拝の方で賑わっていました。幼稚園の子ども達も例年のように参加させていただきました。絵本で見たり興福院の閻魔様を思い出したり、子ども達は「鬼」への興味が膨らんでいます。青鬼・赤鬼の登場に目をつぶってしまう子、いつの間にか保育者の後ろで小さくなっている子、あまりの驚きで声も出さずにいる子と様々でしたが、金時の豆うちで逃げていった鬼の姿を見て一安心。小澤宮司さんの「天下泰平・弥栄」の掛け声を一緒に行き、お参りをして帰ってきました。今年の山姥は用務員の村田さん。いつもと違う様子に「村田さんどこ?」「村田さんって山姥だったの?」と不思議そうでした。

ニュースでは「鬼離れ」の話が聞かれ、最近では各家庭で豆まきをしなくなったということでした。鬼の話をしてむやみに子どもを怖がらせてはいけません、立春を前に邪気を払い1年の無病息災を願う古からの風習を子ども達へとつないでいきたいと思えます。「鬼ってボートが運転できるんだ!!」「鬼は鬼ヶ島へ帰ったの?」「なんで私達のところに来なかったの?」「みんながいい子だったからだね。」そんな会話をしながら園に帰ってきました。今年も地域の行事に参加させていただき、1年間、子ども達も元気に過ごせそうです。

宮城野保育園との今年度最後の交流

宮城野保育園園児さんとは、同じ箱根の森小学校に就学することから月に2回程度の交流を重ねてきました。2月9日には今年度最後の交流が宮城野保育園で行われました。年長児は「鯉節」の食育活動を行い、実際鯉節を削り、そのだしの旨味を体験し、年少・中児は各保育室や園庭で一緒に好きな遊びを楽しんできました。宮城野保育園の友達のやっていることに興味を持って一緒にやってみたり、自分の好きなこと、知っていることを友達へ伝えてみたりしています。園内とは違う友達関係の中でも安心して過ごし、自分の思いを伝え、関わりを楽しむことが大きな目標になっています。宮城野保育園の子ども達は箱根幼稚園の友達の名前も覚えてくれて、積極的に声を掛けてくれます。給食体験も一緒に行き、お弁当とは違う経験も積んできました。食育活動では、町の栄養士の方の話聞きこれまでも「鮭や米」について学んできました。年長児は宮城野保育園の園長先生に「もう小学校に行くから交流には来れないけれど、今までありがとう。」と挨拶をしていました。「小学生になったらまた遊びに来てね。」とお誘いを受けて嬉しそうに返事をしていました。少人数園ではありますが色々な機会を通し、人との関わりを広げてきた1年です。

保育の一コマ

箱根園のそり遊びに出掛けた時の話です。そり遊び場に、3歳くらいの子も連れの家族がいました。その子のそりのひもが柵に引っ掛かり戸惑っていると、園児がすぐに気が付き「僕がもってあげるよ」と声を掛けていました。初めて出会う子でしたが、困っている人にすかさず手を差し伸べる姿をみて、とても嬉しかった一コマです。

最近聞いた話の中に乳児でさえも「自分以外の誰かをよく生かそうとする」気質をもっているということを知りました。生後6か月から10か月の乳児に2つの動画を見せた事例から分かったことです。一つは、○のブロックが山を登ろうとしている時、△のブロックが出てきて○のブロックを押し上げて登るのを助けてあげるという動画です。次の動画では○のブロックが山を登ろうとしている時に上から降りてきた■のブロックが○のブロックを上から突き落とす動画です。これは■のブロックが○のブロックを「邪魔している」のに対して先の△ブロックは「助けている」様子を見せているのです。この動画を観た後、△と■のブロックを並べて乳児に選ばせるといかにも「こっちのほうがいいよ」と教えるように明らかに○ブロックを助けた△ブロックを選んだそうです。

「親切」や「意地悪」を経験から学んでいるわけでもない乳児がブロックの動きからブロックの「意図」を正確に読み取り、そのうえで「相手にとって良きことをしている(△ブロックの方がいいよ。助けてくれるよ。と教える。)」気質を誰もが備えているということがわかった実験です。しかし、残念なことに大人になるにつれて「よのなか」を知るようになり自分以外のものへの特別な気遣いを隠し、困っている人を「ひとごと」のように眺め、見て見ぬふりをするに長けていってしまうようです。この話を聞いた時に、人間の本来持っている力の大きさに驚き、子どもの本来持っている気質を消さないようにしていきたいと思いました。

お別れ会へ向けて

幼稚園で8人が一緒に過ごす日を数えるともう1か月もありません。先日お別れ会に向けての話し合いが行われました。「お別れはいやだ。」「一緒にいたい。」「たのしい会にしたい。」「私、〇〇したいから練習しよう。」など思いが溢れてきました。自分ががんばること。友達やお家の人へ思いを寄せること。一緒に楽しむこと。それがキーワードになりそうです。

お別れ遠足は、箱根めぐりを計画しています。大好きなさくら組と一緒に出かけられることが楽しみなゆり組。電車、ケーブルカー、ロープウェイ、海賊船。たくさんの乗り物に乗ることが楽しみならば組。ゆっくり見たいと思っていたビジターセンターやジオパークの訪問が楽しみなさくら組。箱根の良さを体験してこようと思います。



湯本小だより

第11号
令和6年2月9日
箱根町立湯本小学校
西田 孝予

～ 箱根教育合言葉 箱根を愛し かしこく やさしく たくましく ～

『今、今、伝えよう 10才分のありがとう』

1月23日、授業参観へのご来校ありがとうございました。

4年生の授業「10歳を祝う会」を参観しました。この日のために練習した合唱を保護者に披露しています。感謝の気持ちがかもっているのでしょうか、子供たちの力強い歌声がまっすぐ心に響きました。また、保護者からの手紙を読む子供たちの照れたような誇らしげな顔から、子供自身も成長を実感していることが分かりました。

この日は、4年生だけでなく、どの学年も、学習の成果を精一杯発表していました。緊張した表情の子供も、保護者の顔を見ると笑顔がほころんで、とてもうれしそうでした。

1、2学期は学習公開日として、一日自由に参観していただいています。3学期は1年間の学びを披露する場として位置づけ、公開時間もブロックごとに設定しています。今回もそうですが、1年間の成長を親子で確かめる時間になっていることをありがたく思っています。



5・6年「情熱大陸」の合奏
大迫力の演奏！
2学期から練習を重ねたか
いがありました！

3年 漢字音訓カルタ
「温泉で心も体も温まる」

中休みの1年「親子対
抗ドッジボール」他学
年の子供たちもやりた
そうでした。

【授業参観アンケート紹介】

アンケートの一部を紹介します。

- 授業参観のために秋から相当な準備をしてきたのだろうと想像されました。今日までは秘密だったのでしょうか、準備の苦労や楽しかったことなどを聞いてみたいと思いました。
- 限られた時間の中で見所沢山、子供たちががんばっている姿、成果を見られました。先生と子供が考えて努力してきた結果だと思います。本当にありがとうございます。2年生はリズムに合わせたカスタネット、ハーモニカや鉄琴、木琴の演奏も素晴らしかったです。手作りおもちゃはどれも思っていた以上に工夫されていて大人も楽しめました。ルールをしっかり覚えて説明してくれる姿は頼もしかったです。
- 歌やリコーダー、郷土資料館に行ったことの発表があり、みんな楽しそうに、はきはきと発表している様子が見られてとてもよかったです。
- 「一日いつでも来て見られます」もううれしいのですが、今回のようにこの時間のために一生懸命練習してきたものを見られるのはとてもよいと思いました。
- 高学年になると、自分たちで動けるようになっていて、さすが！と思いました。先生方も会うと声をかけてくださるのうれしいです。湯本小の児童数も少なくなってきましたが、少人数ならではのよさを生かした、そして一人一人に寄り添える教育をがんばってほしいと思いました。
*温かいお言葉、励みになります。

「素晴らしい地球～明日へのメッセージ～」

1/23～2/2 開催

榊原俊寿さんの動物写真の展覧会を行いました。幼児学園のだいすき組さんが見に来たときには、1年生がお兄さん、お姉さんとして案内しました。全校道徳でも、この動物写真を題材に「いのち」について考えました。

【児童の感想から】

○「素晴らしい地球」の写真から家族愛が伝わりました。理由は慰め合ったり、たまにけんかしたり、ハグしたりする写真がありました。これらを見ていると心がぽかぽかしました。

- 私はチンパンジーが寂しく瞑想にふける写真が好きです。理由はかわいそうだけれどがんばっている感じがしたからです。
- 私は「僕はたった今この地球に誕生しました！」というパピヨンの赤ちゃんの写真を選びました。元氣よくこれから生きていくぞという気持ちが伝わってきて、私もこの子みたいに元氣よく生きるぞと思ったからです。
- ぼくは、トカゲの「小さくても身体は一人前なのさ」が気に入りました。ぼくも小さいけれどトカゲみたいに自信をもって生きていきたいなあと思いました。

なお、この写真展は「NPO 法人ジャパン・ハートデリバリー」のご協力で開催しました。

保護者や地域の皆様、登下校の見守りありがとうございます。登下校中に児童が写真を撮られて心配だという保護者の声があったことを受け、通学路上の交通看板に次のような掲示をする予定で教育委員会町と調整しています。



この写真展を撮らないでください
Don't take photos of children

ご理解・ご協力をお願いします